

差があり、まだまだ充分とは言えない状況です。特に二年生は大学受験まで一年を切っており、さらに学習に時間を充てて、受験生としてのスタートを切らせたいと思います。

〈第三学年〉

毎日遅くまで「時習館」や図書室、教室で勉強する姿が目立ちました。早朝課外や放課後の課外にも積極的に多数の生徒が参加していました。各自がはつきりとした自分の志望校を決め、そこに合格するためには、日々努力あるのみということを三年生は認識しているようです。

十月からの推薦入試では、国公立大学合格者が十名、私立大学では、指定校推薦で五名、一般推薦で三名が早々と各自の第一志望への進路を決定しています。詳しくは以下のとおりです。

国公立大推薦入試合格十名

筑波大学 四名
茨城大学 三名
埼玉大学 一名
茨城県立医療大学 二名
私立指定校推薦入試合格五名
慶應義塾大学・明治大学

津田塾大学・東京理科大学

国際医療福祉大学

私立AO（自己推薦）入試合格二名

大妻女子大学・昭和女子大学

私立一般推薦入試合格二名

国際医療福祉大学二名

一月の平成二二年度大学入学者選抜大学入試センター試験は、本校では二七五名が受験しました。各科目の平均点などは、後の表に記載しましたが、他校と比較しても遜色のない結果です。今後は、国公立大学二次試験対策の課外授業や小論文指導・面接練習などに取り組み、最後まで生徒・学校が一体となって努力したいと思います。

【筑西ブレ・カレッジ講座】

生徒の進路選択・決定のためには、高校の授業以外のところでも、興味・関心を喚起し、そして感動を与えることが必要だと思われます。そこで今年も八月三日（月）～五日（水）の三日間、茨城大学・筑波大学から六人の先生を本校にお招きし、九〇分の講義を二コマ（計一八〇分）して

いただきました。講義の内容の一部を紹介すると、茨大の島田先生の「視覚表現入門」ではディズニーと宮崎アニメの違い・国による映像表現と

解釈の仕方の違いについて、スタジオジブリの作品を見ながら、考えました。また、筑波大の大嶋先生の「量子ビームが拓く世界」では、現代の科学技術が過去の科学者たちの発見を基にしていることや、その技術が私たちの日々の生活に密接に結びついていることを様々な具体例や実験を通して学びました。他の先生方も、高校生にも分かりやすく興味の持てるような内容で、専門的なことを詳しく説明していただき、受講生からは「分かりやすかった・おも

しろかった・普段の授業では聞けないような内容だった・もっと知りたい」といった声が多数出ました。講義名と講師名は以下のとおりです。

（敬称略）

「携帯電話の技術
それから大学でまな

ぶことと高校で学ぶことの違い」

茨城大学 鹿子嶋憲一

「世界の食糧問題を経済学から考える」

筑波大学 松下秀介

「千と千尋の神隠し」を妖怪学から眺めてみた」

茨城大学 増子利男

「量子ビームが拓く世界」

筑波大学 大嶋健一

「都市問題と交通」

筑波大学 谷口綾子

「視覚表現入門」

茨城大学 島田裕之

【文化講演会】

毎年恒例の文化講演会。これまででも各界で活躍の方々に講演をしていただき、生徒たちには将来を考える上でよい刺激を与えてきました。二十一年度は、十一月四日（水）に、地球温暖化の世界的権威である茨城大学教授・地球変動適応科学研究機関長の三村信男先生に「地球温暖化はどこまで分かっているのだろうか？」将来予測、影響、対策に関する最新の研究成果」と題して講演をしていただきました。先生は、東京大学大学院を卒業後、東京大学助教授を経て、茨城大学と東京大学の教授を併任され、現在は茨城大学学長特別補佐と茨城大学地球変動適応科学研究機関長も兼任されています。

今回の講演では、本校の生徒の質問に即して、あらかじめ用意なさっていたレジュメを修正していただきました。温暖化問題のアウトラインに始まり、温暖化はそんなに大変な問題か、温暖化のメカニズムはどこまで分かっているのか、温暖化問題は解決できるのか等について明快かつ具体的に答えてくださいました。

一流の学者はプレゼンテーションも一流であり、碩学の先生なればこそ「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことをゆかいに」生徒たちに伝えていただき、生徒からも「温暖化の利点はないのか」等の質問が出ていました。生徒のみならず、教員にとっても有意義な講演会となりました。

最後に、同窓会会員・保護者の方々には、常日頃から下館一高のために「尽力いただき深く感謝しております。これからも、本校の生徒の成長のために、ご指導・ご鞭撻くださるようお願い申し上げます。なお、本校のその時々々の話題・状況については下館一高のホームページに載せてありますのでインターネットを通して、ご覧ください。進路指導部で発行している中学生向けの「館一ニュース」もご覧になれます。ご覧になってのご意見・ご感想等、いただければ幸いです。下館一高のホームページのアドレスは、<http://www.shimodate1-h.ed.jp/>です。（「下館一高」で検索されてアクセスできます。）



主な大学合格者数

(年度は入試年度です。)

(主な国立大学)

大学名	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
東北	0	0	2	2	0
山形	4	0	2	2	3
福島	4	0	1	1	1
茨城	18	17	21	29	29
筑波	9	11	11	16	17
宇都宮	17	18	13	8	17
群馬	5	1	2	3	4
埼玉	8	7	5	3	4
千葉	3	1	4	4	2
東京	0	1	0	1	1
一橋	1	0	0	0	0
東京工業	1	1	0	0	0
東京外語	0	1	0	0	0
横浜国立	3	2	0	0	0
その他	7	3	3	14	8
国立大計	80	64	64	83	87

(主な私立大学)

大学名	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
国際医療福祉	27	16	20	24	17
獨協	12	9	9	13	8
文教	19	7	10	16	10
青山学院	10	9	6	6	7
大妻女子	12	0	4	0	4
北里	6	4	2	9	7
慶應	3	6	2	3	3
国際基督教	0	0	0	0	1
駒沢	14	11	11	25	4
芝浦工業	12	12	13	17	12
上智	1	1	4	0	2
専修	22	12	11	15	10
中央	17	13	8	12	7
津田塾	1	2	0	3	2
東京女子	4	0	0	2	1
東京薬科	5	1	0	1	1
東京理科	8	11	10	17	13
東洋	34	23	28	38	20
日本	30	16	25	20	20
日本女子	3	1	3	1	1
法政	25	18	17	15	9
東京都市	8	2	9	10	2
明治	19	5	17	14	10
明治学院	16	2	10	13	6
立教	6	2	8	9	4
早稲田	6	2	2	6	7
その他	341	241	274	350	308
私立大計	661	426	502	639	496

(主な公立大学)

大学名	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
高崎経済	6	2	2	3	1
県立医療	5	2	3	9	8
首都大東京	7	2	1	2	2
横浜市立	1	0	1	3	3
その他	12	4	10	12	15
公立大計	31	10	17	28	29

進路決定先人数

年度	国公立大	私立大	短期大学	専門学校	就職	未定・他	卒業者数
21	82	161	5	6	3	21	278
20	65	133	0	13	1	62	274
19	64	162	5	9	4	32	276
18	90	150	3	6	2	29	280
17	86	156	7	12	3	53	317

2010年度大学入試センター試験平均点

科目	国語	数学ⅠA	数学ⅡB	英語	世界史B	日本史B	地理B
本校平均	114.4	48.9	55.8	126.3	62.2	64.0	57.0
全国平均	105.6	49.8	58.7	119.8	61.0	62.6	65.7

科目	物理Ⅰ	化学Ⅰ	生物Ⅰ	リスニング
本校平均	53.8	51.9	71.7	30.8
全国平均	55.2	54.7	70.4	29.7

※ 全国平均は中間発表のものです。

部活動だより

バレーボール部

男子は酒寄先生と廣瀬先生、女子は中村先生のご指導の下、活動しています。男子は新人戦で地区予選を勝ち抜き、県大会に出場することができました。女子はけが人も多く、力を発揮することができませんでした。春先の大会では上位に入れるよう、練習に励んでいきたいと思っています。

バスケットボール部

バスケットボール部は男子十三名、女子十三名の計二十六名で広瀬先生のご指導のもと日々練習に励んでいます。男子がインフルエンザの影響を受けましたが、なんとか県大会に出場することができました。女子は優勝校に惜敗しましたが、次は勝ちあがれるよう日々努力しています。応援よろしくをお願いします。

紫西会報

陸上競技部

陸上部は、少人数ながら自主的に活動をして、自己の記録を伸ばしています。

グラウンドがほとんど使えなかったり、課外や追試などなかなか練習時間の確保が難しい状態ではあるのですが、自分の目標に向かい一生懸命努力しています。これは大学入試に向かう受験生と同じスタイルだと思います。

本年度の結果

走高跳 県新人大会五位入賞

県西新人三位入賞

県西駅伝男子四位入賞

硬式野球部

私達、硬式野球部は県大会出場、そして、夏の大会で勝つことを目標に日々練習に励んでいます。技術や精神力の向上を常に目指し、チームプレーを大切にして勝利の為に一人一人が全力で取り組んでいます。



います。今、マネージャーが不足しているため募集しています。興味のある人は、是非来て下さい。

サッカー部

サッカー部は、顧問の白岩先生、副顧問の川上先生のもと、日々の練習に励んでいます。今年度は一大会しか県大会に出場することができず、悔しい思いをしました。来年度は先輩方の戦歴に恥じぬよう、二大会連続で県大会に出場し、結果を残したいと思っています。

卓球部

卓球部は大吉先生のご指導のもと、男子十三名、女子二名で活動しています。最近はずっとワーク強化のため、毎日厳しい練習に取り組んでいます。今後の大会では練習の成果を発揮し、団体、個人ともに上位入賞できるように頑張りたい。

剣道部

剣道部は、男子八名女子五名で活動しています。一人ひとりが熱心に練習に取り組む、その努力の結果インターハイ予選では男子団体第三位、県

団体勝ち抜き大会ではⅡ部女子第二位という結果を残すことが出来ました。今後も海老原先生のご指導のもと、一日一日を大切に、お互いに切磋琢磨しながらがんばりたいと思います。

ソフトテニス部

僕たちソフトテニス部は、男子十六名・女子六名の合計二十二名で、顧問の先生方のご指導のもと日々練習に励んでいます。男女ともに技術面や体力面の向上を目指し、目標に向け黙々と、しかしそれを楽しむように練習やトレーニングに取り組んでいます。これからも日々の努力を重ねていくので、応援よろしくお願ひいたします。

柔道部

我々柔道部は、4人という徹底した少人数制で楽しく活動しています。最近の稽古は、ALTのベン先生をお招きして、英会話と柔術を取り入れながらの練習、筋トレの強化、自主性を重んじ日々精進しています。結果よりもプロセスを大事にする柔道部。今後は人数拡大が目標です。

バドミントン部

バドミントン部は男子十六名女子八名の計二十四名で県大会上位入賞を目標に日々努力しています。最近の戦績は、男子がダブルス、シングルス、団体で県大会出場。女子がダブルスで県大会出場を果たしました。

テニス部

テニス部は、二年生二名、一年生二名の少ない人数ですが、県大会出場を目標に毎日練習に励んでいます。去年は県西大会の団体戦であと一勝すれば県大会というところで終わってしまいました。今年の総体では、一勝でも多く勝てるように部員一丸となって努力していきたいです。

弓道部

弓道部は男女合わせて二年生が十二人、一年生が九人で先輩方から受け継がれた伝統を守り日々練習に励んでいます。基本的に休みが少なく、忙しいですが、部員全員の仲は良くいつも楽しく練習しています。県大会には、男女共に出場し、女子個人では関東

大会にも出場しました。今後目標に向かって日々精進し、頑張っていきます。

軟式野球部

私たち軟式野球部は、丸山先生、岩澤先生のご指導のもと日々練習に励んでいます。部員は男子と女子を合わせて二十四人と多くなりましたが、以前と変わらず元気に活動しています。残りの大会でいい成績が残せるよう、これからがんばっていきます。

ボクシング部

県全体でもボクシング部が廃部になる高校が多く、部が存在する高校でも部員が激減しているのが実情です。本校でも、健康維持のために練習している生徒が多い現在ですが、来年度は全ての大会に参加できるように基礎から徹底して鍛えていこうと思っています。

ライフル射撃部

本年度は、エアライフル競技において、全国大会女子団体で四位、関東選抜大会女子個人で五位と八位に入賞という成績を収めることができました。

きた。
射撃はオリンピック種目にもあり、集中力を鍛えられ、個々の努力で結果を出せ達成感を得られるメンタルなスポーツである。

部員一人一人が全国大会、国体での上位入賞を目標にさらなるレベルアップを目指し、今日も真壁の射撃場で撃ち続けている。

山岳部

一昨年度は関東大会出場、昨年度は県大会第二位の輝かしい成績を先輩たちは打ち立ててくれました。現在、三年生二人のみで活動している部です。山岳部は君の入部を必要としています。一緒に山に登りましょう。山頂からの素晴らしい絶景が君を待っています。

水泳部

水泳部は学校では活動していませんがスポーツクラブで練習に励んでいます。昨年は、県民総合競技会や県春季競技会、関東高校予選会に出場しました。県民総合競技会では二百メートル個人メドレーで七位に入賞しました。人数が

少ないので興味のある方は気軽に入部してください。

美術部

美術部は三年生三人、二年生四人、一年生二人で活動しています。一人一人が画力の向上に向けて日々デッサンや油絵、水彩画などを描いています。県西展や県展、また文化祭のある年には部活動で展覧会に個人で出品します。興味のある方は美術室に遊びに来てください。

写真部

今年の写真部の活動は、県高校総文祭への出展を始めて、春夏の撮影旅行、高文連写真部会の主催の講習会や撮影研修会、写真コンテストへの参加、七曜祭でのストリング・オーケストラとのコラボによる写真展などです。部員は現在八名、デジタル写真を中心に活動中です。

茶華道部

茶華道部では毎週火曜日に外部講師の飯塚先生のご指導の下、四季折々のお手前の練習をしています。今年度は一年生が多く入部しました。茶

道未経験の方でも大丈夫です。興味がある人は、ぜひ茶室をのぞいてみてください。

吹奏楽部

私たちは、佐藤先生のご指導のもと男女二十八名で日々活動しています。コンクールや定期演奏会、野球応援や音楽会での演奏はもちろんのこと、今年はアンサンブルコンテストにも出場しました。まだまだ部員募集中ですので、初心者の方も経験者の方も興味のある方は是非一度見学にいらして下さい。

音楽部

私たち音楽部は主に放課後に活動しています。現在部員は一年生のみで、5つのバンドがあります。皆それぞれ文化祭でのライブや、有志による校外ライブのために切磋琢磨しています。また練習はバンドごとなので、自由に練習に取り組めます。興味のある方は是非入部してください。

文芸部

部員は全日制と定時制、あわせて十一人です。俳句甲子園や短歌甲子園出場をはじめ、

個人でも様々な賞を獲得しています。日本語という美しい言葉のなかで自己表現をする楽しさを感じています。随時部員募集中ですので、興味・関心のある方は気軽にどうぞ。

生物部

生物部は時々グローバル規模で活動しています。中心となる活動であるアサガオの染め分けの研究を深め、今年度はげんでん財団科学賞を受賞しました。個性的な生物の先生方の指導のなか、自分の好きなことに取り組めるので、様々な経験ができる部活です。理科全般に興味がある人、入部をお待ちしています。

放送部

放送部は部員八人でアットホームに活動しています。活動は年間を通して発声練習など地味ではありますが、NHK杯全国大会出場など大会にも出場をしています。

声を使う活動以外にも脚本・音楽・音の編集など、様々なことが出来ます。

興味のある方は放送室に遊びに来てみてください。

パソコン同好会

メンバー各々で、自らの技

能を磨くべくタイピングから画像処理まで様々な活動に取り組んでいます。

現在会員が三年生のみのため、パソコン同会では新たな会を創り上げてゆく有志を募っておりです。

ボランティア同好会

私達ボランティア同好会は部員数一七名で皆仲良く活動しています。

今年は福祉セミナーや身体障害者施設の行事の手伝いに、積極的に参加しました。

年に五回程の活動なので、兼部も可能です。

ストリングス同好会

私たちは、一年生六人、二年生三人で活動しています。第七回定期演奏会では、世界のピアニスト「ローランド・バティック氏」と共演しました。「自由に楽しく」をモットーに和やかな雰囲気練習しています。ぜひ、見学に来てください。

書道同好会

十二名が登録、練習は各自で行っている。今年は、七曜

祭で作品を展示し、見ていただいた。各種書道展に応募し上位入賞している。「茨城高等学校総合文化祭」に二年の山家仁美・松野可奈絵が入選。山家は、来年度の全国大会の茨城県代表に推薦され、出品作品の制作に励んでいる。

編集後記

今号は、茨城県教育委員長に就任なさいました、関正樹さんから原稿を頂きました。紫西同窓会の中に、教育委員長という重責を担う方がいらっしゃることを誇りに思います。

紫西会報では、いつでも下館一高を卒業された方の記事をお待ちしております。クラス会や仲間内での懇親会など、何でもお寄せ頂きたいと思えます。お便り・お電話・FAX・電子メールで受け付けております。

編集委員

清水 順子

蒔田 啓子

佐藤 伸彦

柴山 佳美

写真提供

鈴木写真館